

第14回 米子市美保中学校区義務教育学校開校準備委員会議事録（概要）

1 日 時 令和8年7月1日（水）午後7時から午後7時55分まで

2 場 所 米子市立美保中学校 特別活動室

3 出席者

アドバイザー（敬称略）

吉田 博幸

委員（敬称略）

松本 勝彦、内田 秀秋（副委員長）、岡田 隆（副委員長）、西井 通（副委員長）、

田邊 忠雄、曾根 大二朗、原田 清美、土井 賢司、堀場 善智（委員長）、

清水 裕子、遠藤 東代子、太田 敦弘、瀬尾 香緒里、藤澤 美和

説明のために出席した職員

教育長

浦林 実

【教育委員会事務局】

事務局長

金川 和弘

事務局次長兼こども支援課長

長尾 理恵

こども政策課長

永榮 一博

事務局主査兼指導主事

遠藤 幸子

学校教育課長兼指導主事

平野 勝久

こども政策課長補佐

井原 聡史

こども施設課長補佐

前畑 昇吾

こども政策課係長

松下 貴洋

こども政策課主事

佐々木 泰地

【こども総本部】

こども政策課担当課長補佐

國谷 建太

こども施設課保育リーダー

飯田 聡子

こども施設課保育リーダー

松原 香里

こども政策課係長

砂場 雄一郎

【関係部署】

交通政策課長

倉本 樹

まちづくり企画課長

藤堂 壮範

4 次 第

1) 委員長挨拶

2) 教育環境部会からの報告

3) 協議

①閉校事業、開校事業について〔公開〕

- ア 閉校事業、開校事業に関するアンケート結果（まとめ）について
- イ 閉校事業、開校事業についての検討について

②校名候補選定について〔非公開〕

4) アドバイザーからの助言

5 概 要

(1) 次第2) 教育環境部会からの報告

- ・第8回教育環境部会（令和8年5月12日開催）において行われた吉田アドバイザーの講話「子どもたちの安全な通学に向けて～わが子の健やかな成長を願って～」について紹介した。
- ・バス対象者を検討するに当たり、教育環境部会として基準となる通学距離を明確化し、統一化するため、通学を想定した現地調査を3地区で実施した。現地調査のまとめは、8月に開催予定の教育環境部会で行うため、次の開校準備委員会で報告する。

(2) 次第3) 協議 ①閉校事業、開校事業について〔公開〕

- ・事務局から前回の会議後に実施したアンケートの結果の説明を行った。
- ・奥大山江府学園の開校式の動画を視聴し、式典についての共通認識を図った。
- ・校区ごとにグループを作り、現時点での式典、閉校事業、開校事業の方向性について意見交換を行った。

(3) 次第3) 協議 ②校名候補選定について〔非公開〕

- ・事務局から校名候補案の公募結果を報告した後、第1次選定の結果について協議を行った。
- ・事務局から校名候補選定の今後の流れについて説明した。
- ・選定基準(3)「美保中学校区の学校だとイメージできる校名であること」を基準とした第2次選定を開始した。

(4) 次第4) アドバイザーからの助言

- ・徒歩通学について、日常生活の中で無理なく自然に身体を動かすことのできる貴重な環境であり、交通安全に対する意識の向上や、自主性・社会性の育成といった教育的効果が期待できる。
- ・今後の通学に関する検討について、教育的な視点も念頭に置いて進めてほしい。
- ・閉校事業、開校事業について、式典は市や教育委員会が主催することが多いが、記念事業のようなイベントはPTAや地域住民、同窓会等が「実行委員会」を立ち上げて主催するケースが一般的である。
- ・学校側も、準備や運営に関わっていく必要がある。
- ・各地域の考えをお互いに情報交換・共有しながら進めると良い。
- ・校名候補選定では、公平性や説明責任の観点から、選定した理由を明確にする必要が

ある。

- ・最終段階でよいが、商標登録について確認しておく必要がある。